

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	リトルジェム2nd		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 27日		～ 2025年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 24 (兄弟利用1名除く)
○従業者評価実施期間	2025年 3月 6日		～ 2025年 3月 11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境整備への工夫	利用定員や利用状況に合わせ、パーテーションやカームダウンルームを活用するなど、子どもが活動しやすい環境づくりに努めている。	一人用のテーブルを準備するなど、一人でも活動がしやすい環境を整備する。
2	マンツーマンに近い支援体制	職員を基準よりも多く配置し、子ども一人ひとりに対して個別に関われるようにしている。	
3	スタッフ間の情報共有と連携	朝礼・支援会議での意見交換を通じ、スタッフ間で情報共有や振り返りを行っている。	事例検討会などを通じて、役職や立場(正社員・パートなど)を気にせず発言できる機会をもつ。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	一部時間帯でのスタッフの不足	送迎時や夕方の帰りの会など、他業務との兼ね合いで実際の支援人数が不足する状況が見受けられる。	忙しい時間帯の補助体制を整えるため、スタッフのシフト管理や他の業務との調整を再検討する。
2	保護者支援の参加率の偏り	家族支援プログラムにおいて、参加する家庭が固定化しているという意見があり、より広範な保護者へのアプローチが必要。	保護者への情報伝達や事業所の広報活動に、SNSやWEBサイトの充実を図ることで、より多くの情報がリアルタイムに伝わる体制を整える。
3	職員間の研修受講の偏り	研修時間の確保が難しく、一部職員(主に正社員)が外部の研修に参加していて、会社に持ち帰って全体共有している。	オンデマンドで、短時間でも受けられるような研修を受講させる。